



“走るマラソンカメラマン”
辰巳郁雄 写真展

走った!撮った!世界のマラソン!

illustration:シバヤマヒデアキ

2010.2.3 (Wed) ~ 14 (Sun)

東京・銀座 リコーフォトギャラリー RING CUBE

11:00 ~ 20:00 (14日は17時まで、9日は休館) 入場無料

市民ランナー自らが、祭りのようなマラソンを走って活写!
42.195kmの沿道やコースで、躍動する人々、弾ける笑顔!
海外6都市と東京など計12大会で撮った約100点を展示!

海外の大都市で開かれるマラソンは、コースも沿道もお祭りです。ランナーも、応援する人も、ボランティアも、皆が主役になれます。こんなマラソンを東京でも開こう。一緒に走る楽しさを伝えよう——。そう思って私は、東京マラソンの開催を呼びかける活動に加わり、世界各地のマラソンに出場して、走りながらの撮影を始めました。夢が現実となった東京マラソンでも、カメラを片手に走りました。42.195kmの道中で出会い、走り続ける力をくれた人たち。そんな人たちと触れ合い、心が躍った瞬間を、楽しんでください!

辰巳郁雄

プロフィール

ジャーナリスト。共同通信社の記者で前橋、仙台、札幌の各拠点と本社・外信部で勤務した後、ブノンペン支局長、出向した東京MXテレビで映像記者兼デスクを歴任。現在は本社・映像音声部デスク。写真付きの海外ルボなど記事多数を新聞・雑誌向けに執筆。ビデオレポートも多数制作。フルマラソンは42回完走。世界各地のマラソンでは、コンパクトデジカメを片手に走りながらの撮影を続けている。1960年生まれ、大阪市出身。49歳。



すごい臨場感!

バッグパイプ、太鼓、ロックのリズム、チアリーダー達の声援、拍手、歓喜の声等々、まるでそこにいるかのように伝わってきます。久米島の沿道でおばあちゃんが野菜の缶を太鼓代わりに叩いて笑う姿に、“こんな応援アイテムもあるのか”と感動。マラソン大会といえば沿道から撮った写真が多く、主役はランナー。でも、辰巳さんの写真はコース上を走るランナー視線で、主役は応援やボランティアで大会を盛り上げてくれる市民の皆さんです。走りたくくなります、応援したくなります、支えたくくなります。この写真展には是非ジョギングシューズでお出で下さい。観たらきっと走りたくなくなりますから。

スポーツジャーナリスト 増田明美



走って撮ったマラソン

【海外都市と東京】

Berlin



ベルリン・マラソン(04年9月)
ドイツ統一の象徴・ブランデンブルク門をくぐりゴール

Vancouver



バンクーバー・マラソン(05年5月)
住宅街も走って、ゆったりとした市民の生活を垣間見る

London



ロンドン・マラソン(06年4月)
着ぐるみなどで仮装して、走りながらチャリティー活動も

New York



ニューヨーク・シティ・マラソン(06年11月)
海外ランナーも移民も黒人も皆が一つに

Seoul



ソウル国際マラソン(07年3月)
ダイナミックに変化する街を抜け「ファイティング!」

Rome



ローマ・マラソン(08年3月)
スペイン階段にコロッセオ。走って楽しむ「ローマの休日」

Tokyo



東京マラソン(07・08年2月、09年3月)
温かな応援が外国人ランナーにも好評

【番外編】

東京夢舞いマラソン(09年10月)
「東京マラソンを開こう」と市民ランナーが始めた歩道走るマラソン。今でも很強い人気

コチャン・コインドル・マラソン(09年11月)
韓国・全羅北道の大会。世界遺産の支石墓(コインドル)群をコースから見物

NAHAマラソン(09年12月)
3万人が走るお祭り大会。延々と続く沿道の応援に感動

おきなわマラソン(07年2月)
嘉手納基地の中も走り、国内に居ながら2カ国を体験

久米島マラソン(08年10月)
オバア笑顔に励まされ、きれいな空気にも癒される



PHOTO GALLERY RING CUBE

■ 開館時間 11:00~20:00 ■ 入場料 無料 ■ 火曜日休館

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目7-2 三菱ドリームセンター 8・9F(受付9F)

TEL:03-3289-1521 <http://ringcube.jp/>

交通のご案内

- 東京メトロ銀座線 「銀座駅」徒歩1分
- 東京メトロ丸の内線 「銀座駅」徒歩3分
- 東京メトロ日比谷線 「銀座駅」徒歩2分